

NPO 法人ヒミツキチ

2024 年度事業報告及び決算

自 2024（令和 6 年）年 4 月 1 日

至 2025（令和 7 年）年 3 月 31 日

1 事業の成果まとめ

昨年度は、3つの子どもの居場所「小松台プレーパーク」「むかさ・こどもの居場所フルフル」「ヒミツキチ森のがっこう」を継続して運営いたしました。日南市では海のヒミツキチの自然体験活動事業、宮崎県内で中間支援として、講演会や研修会を実施して、子ども期の外遊びの大切さを啓蒙する活動を行いました。9月からは、第2回ゴールドマン・サックス 地域協働型子ども包括支援基金『遊びと対話で繋がる「多機能型こどもの居場所」地域連携支援事業』を、パブリックリソース財団さま、認定NPO法人 learning for all さまの伴走を受けながら子どもの居場所事業の出口戦略を見直す機会があり、資金調達について法人にあった分析を行うことができました。また、資金調達チームをつくり、ワークショップなども頻繁に行うことで当法人に必要な組織をクリアにすることができ、さらに子どもたちの活動や包括的な支援を実践するためにどうすれば良いのか立ち止まって考えることができました。

8月には高校生世代の居場所「PARK.Youth & Books&Design（通称：パーク）」の設置と開催。「パーク」のある三股町では、行政や支援団体などのステークホルダーと連携し、休眠預金活用事業の助成を受けて、念願だった高校生世代の支援を行うことができました。この事業では、当法人が認定NPO法人キッズドアさまから学習支援のノウハウを学び、対応が難しいこの世代と信頼関係を築きながら丁寧な個別支援を実現することができました。その結果、地域から孤立していた高校生世代と活動や対話を重ねながら再入学や復学、就職の実現をサポートすることができたと感じています。この居場所は、長年放置されていた空き家を災害に強い建物に改修し、若者にとって居心地の良い環境に整えることでこの世代の利用が増え、高校生世代の支援の必要性を全国から来る視察団やマスコミに周知することもできました。利用者のうち、5回以上の利用が72%とリピート率も高い状態が続き、三股町の子ども計画に『高校生世代の居場所「パーク」』が掲載されました。運営資金の獲得に課題は残ったものの、ヤフーニュースやジャパントाइムズにも掲載され、全国に高校生世代の緊急的な支援が必要なことを周知することができ、大いに目標を達成できたと感じています。

任意団体設立から10年という節目で、0歳から高校生世代の子どもたちを対象とした包括的な支援をワンストップで行えるようになったことは、継続して応援してくださった会員の皆様のお陰だと感じています。当法人の理念でもある「子どもには育つ力がある」「その育ちを待つことが大切である」ということを感じる1年でした。経済的また複雑な家庭背景に関係なく、すべての子どもたちが「今、幸せ。」と感じられる社会を実現するために懸命に走り切った1年の活動を下記のとおり報告いたします。

2 事業報告

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数
○子どもの居場所事業・冒険遊び場事業（相談支援含む）	(1) おそとであそぼう！小松台プレーパーク 2024 内容：冒険遊び場 小松台ハイランド自治会、小松台小学校協力、共催：小松台まちづくり委員会	令和6年4月-8月、計19日間開催、毎週月曜と水曜日14:00～17:30※長期休暇を除く (B) 宮崎市小松台公園 (C) 6人、都城エヌスクール ※スタッフは18時まで	(D)全ての子どもと保護者と地域住民 (E)延560人 ○ユニーク数：100人以上
	(2)ゴールドマン・サックス 地域協働型子ども包括支援基金『遊びと対話で繋がる「多機能型こどもの居場所」地域連携支援事業 ①小松台プレーパーク 2024	(A)①令和6年9月-令和7年3月計39日間開催、毎週月曜・水曜日14:00～17:30（10月中旬から17:00まで） (B) 宮崎市小松台公園 (C) 6人、都城エヌスクール、宮崎大学インターン生2人 ※スタッフは18時まで	①(D)全ての子どもたち (E)延3,480人 ○ユニーク数：100人以上
	②むかさ・こどもの居場所「フルフル」、フルフルこども食堂、おやつタイム※4月～8月は自主開催	②(A)令和6年4月-令和7年3月、計43日間開催、毎水曜日14:00～17:30※長期休暇を除く、子ども食堂12回含む (B) フルフル（ギャラリー・鬼楽） (C) 3人、外部講師2人、調理師1人	②(D)全ての子どもたち (E)延979人 ○ユニーク数：51人
	③高校生世代の居場所パーク相談支援（休眠予金活用事業終了後）※令和7年3月のみ	(A)令和7年3月1日～3月31日まで相談件数5件※オンライン含む (B) 三股町樺山2989PARK.Youth & Books&Design、ライン (C) 1人	(D)高校生世代（概ね15歳-20歳）不登校中高生、通信高校生 (E)5人 ○ユニーク数：12人※櫻美学園は含まず
	④不登校児やひきこもりの相談支援（パーク以外）	(A)令和6年4月～令和7年3月まで相談件数新規8回 (B) 各居場所、電話、ライン (C) 2人	(D)小中学生 (E)8人とその保護者

○中間支援、講演会、プレーワーカー養成、勉強会、研修	(1)中間支援事業 ア.宮崎市子どもの冒険遊び場（プレーパーク）普及業務委託事業 ※詳細は活動報告参照 ・講演会 演題「小児口腔医学と子どもの外遊びの関係」講師：矯正・小児ひまわり歯科 医院長 柿崎陽介氏 ・ワークショップ ①座学演題「地域住民による子どもの遊び場づくりとリスクマネジメント」 ②実践演題「遊具づくりワークショップ」と体験プレーパーク	(A) 講演会：令和6年9月8日 10:00～11:30 (B) 宮崎市生目交流センター (C) スタッフ6人 (A) ワークショップ ①座学：令和6年10月19日 19:00～20:30 (B)宮崎市生目交流センター ②実践：令和6年10月20日 10:00-15:00 (B) 宮崎小松台公園 (C) ①スタッフ5人②スタッフ6人 講師：①②一社）プレーワーカーズ事務局長廣川和紀氏 (A) 開催支援（プレパ、講話など）令和6年6月～令和7年3月まで (B) 宮崎市田野町、小松台地域、高岡町、船塚町、大塚町、大淀地域 スタッフ5人 ※宮崎市委託事業詳細は添付の活動報告参照	(D) 自治会、PTA、子ども会などプレーパークづくりに興味のある方、教職員、子どもの居場所づくり関係者 (E)46人 (D) 子ども会などプレーパークづくりに興味のある方、教職員、子どもの居場所づくり関係者 (E)ワークショップ：40人、体験プレーパーク100人 (D) プレーパーク実践者 (E)※詳細は活動報告参照○受講修了者に缶バッジを配布
	(1) 講演会と市外のプレパ開催支援 ・宮崎小児歯科医会 第4回オープンセミナー、講話とシンポジストとして参加	(A) 令和6年4月7日（日）9:00-12:30 (B) 宮崎県歯科医師会4F (C) 1人	(D)歯科医師、研究者など (E)50人

	・宮崎南学園 宮崎保健福祉専門学校、非常勤講師	(A)令和6年6月14日(金) 13:00-14:30 (B) 宮崎保健福祉専門学校 (C) 1人	(D)精神保健福祉士、介護福祉、作業療法学科学生 (E)50人
	・綾小学校家庭教育学級講話	(A) 令和6年6月21日(金) 12:30-13:30 (B) 綾小学校 (C) 1人	(D)綾小学校保護者、教職員 (E)40人
	・つのかざんこ、乙房こども園プレーパーク開催支援	(A) 令和6年10月10日(金) 10:00-15:00 (B) 都城市乙房こども園 (C) 2人	(D)全ての子どもたちと保護者 (E)約100人
(2) 視察 ・農村計画学研究グループ、インクルーシブな地域づくりのあり方について ・高校生世代の居場所の視察		(A) 令和7年3月23日(日) 10:00-12:00 (B) ヒミツキチ森のがっこう (C) 4人	(D)神戸大、熊本県立大、弘前大、宮崎大、慶應義塾大、岩手大、兵庫県立大 (E)10人
		(A) 令和6年8月下旬～2月(日) 10:00-16:00 (B) 「PARK.Youth & Books&Design(通称:パーク)」 (C) 4人	(D) 北海道、北広島市など県内外からの団体、個人 (E)延べ200人
(3) 研修 ・PW・スタッフのスキルアップ ①小松台プレーパークスタッフ研修 ②森のがっこうスタッフ ③フルフルスタッフ研修 ④パークスタッフの県外研修 ・オープンダイアログ研修		(A) 令和6年4月～令和7年3月、36回 (B) 宮崎市小松台公園、フルフル、森のがっこう、キッズドア指定高校生世代学習支援施設など (C) 4人	(D)ヒミツキチスタッフ (E)4人
		(A)令和6年9月～令和7年3月、全6回	(D)ヒミツキチスタッフ

		(B)リモート (C) 4 人	(E)ー
○自然体験活動事業	自然体験 2024！海の ヒミツキチ ※台風のため4日中止 した。 子どもゆめ基金助成金 事業	(A) 令和6年6月-10月の 8日間いずれも10:00～ 16:00、富士地区自治会、ハ ダシ、日南市観光、日南市 教育委員会協力 (B) 日南市富士海水浴場 (C) 6 人	(D)小学3年～6年 生と兄弟姉妹と保 護者 (E)116 人
○不登校児のための 包括的支援事業	ヒミツキチ森のがっこ う 内容：不登校児のための 包括的支援 自然遊び、芸術活動、 生活支援など (2)不登校児相談支援 オープンダイアログ 型相談支援	(A)令和6年4月～令和7年 3月、計74回開催、毎週火 曜・木曜日、10:00～15:00 ※希望者は送迎あり (B) 国富町深年私有地 (C) 6 人 (A) 令和6年9月～令和7 年2月10:00～15:00の2時 間程度※オープンダイアロ グ型の相談支援について は、子どもからの相談のみ (B 森のアトリエ (C) 2 人	(D)小学生とその 兄弟姉妹、中 学生 (E) 延774 人 ○ユニーク数：82 人 (D)不登校児の保 護者と本人 (E)延38 人
○休眠預金活用事業	高校生世代のための地 域連携型居場所支援事業ーコロナ禍で深刻化 する孤立を防ぎ、見守 れる地域へー ※詳細は活動報告書参照	(A) 令和6年8月20日～ 令和7年2月28日10:00～ 16:00、86回開催 (B パーク（三股町） (C) 5 人・外部講師1 人	(D)主に15歳～20 歳の高校生世代 延482 人 ○ユニーク数：12 人

(2) その他目的を達成するために必要な事業
なし

活動計算書
(令和6年4月1日～令和7年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 会費収益		
入会金収益	6,000	
正会員費収益	85,000	
賛助会員費収益	48,000	139,000
2 受取寄付金		
受取寄付金	755,110	755,110
3 補助金・助成金事業		
補助金助成金収益	19,809,530	19,809,530
4 事業収益		
受託事業収益	2,276,460	
講師謝金収益	114,500	
参加費収益	362,000	
雑収入		2,752,960
5 その他収益		
受取利息	1,460	1,460
経 常 収 益 計		23,458,060
II 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費		
役員報酬	3,309,634	
常勤職員給料	1,426,000	
非常勤職員給料	2,823,858	
職員賞与	-	
賞与引当金繰り入れ	-	
退職給付費用	-	
法定福利費	25,004	
人件費 計	7,584,496	
(2)その他経費		
謝金	966,870	
旅費交通費	1,267,926	
備品消耗品費	62,884	
消耗品費	1,828,235	
通信運搬費	74,691	
図書研修費	84,867	
印刷製本費	353,848	
水道光熱費	152,136	
保険料	56,936	
地代家賃	225,240	
施設維持費	214,500	
リース料	44,000	
広告宣伝費	136,260	
業務委託費	1,626,100	
支払手数料	388,502	
租税公課	400	
会議費	-	
車両燃料費	13,078	
雑費	-	
その他の経費 計	7,496,473	
事業 費		15,080,969
2 管理費		
謝金	5,000	
旅費交通費	810	
通信運搬費	26,016	
消耗品費	68,278	
地代家賃	10,000	
租税公課	3,100	
印刷製本費	3,500	
減価償却費	840,471	
保険料	-	
福利厚生費	10,000	
支払手数料	91,265	
会議費	4,613	
広告宣伝費	4,150	
諸会費	27,000	
車両燃料費	20,524	
図書研修費	15,000	
雑費	7,456	
管 理 費	1,137,183	1,137,183
経 常 費 用		16,218,152
当期経常増減額		7,239,908
当期正味財産増減額		7,239,908
前期繰越正味財産額		11,925,727
次期繰越正味財産額		19,165,635

特定非営利活動法人ヒミツキチ

貸借対照表

令和7年3月31日 現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	5,995,409		
立替金	-		
前払費用	-		
棚卸資産	-		
流動資産合計		5,995,409	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物	6,548,198		
建物付属設備	6,063,516		
什器備品	581,819		
有形固定資産計	13,193,533		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	-		
固定資産合計		13,193,533	
資産合計			19,188,942
II 負債の部			
1 流動負債			
役員借入金	0		
未払金	22,856		
預り金	451		
流動負債合計		23,307	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			23,307
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		11,925,727	
当期正味財産増減額		7,239,908	
正味財産合計			19,165,635
負債及び正味財産合計			19,188,942

財産目録
令和7年3月31日 現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
手元現金	96,937		
宮崎銀行普通預金	1,485,980		
宮崎銀行普通預金	773,660		
宮崎銀行決済性預金	2,217,985		
paypay銀行決済性預金	1,420,847		
流動資産合計		5,995,409	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物			
森のアトリエ (国富町)	1,421,200		
建物改修工事 (三股町)	5,126,998		
	6,548,198		
建物付属設備			
森のアトリエ (設備工事)	632,808		
森のがっこう倉庫・トイレ等改修工事	1,589,813		
森のがっこう合併浄化槽等工事	219,784		
高岡町ギャラリー改修工事	1,769,955		
森のがっこう電気設備工事	380,542		
森のがっこう改修工事	335,523		
合併浄化槽工事 (三股町)	1,044,725		
トイレ設置工事 (三股町)	90,366		
	6,063,516		
器具及び備品			
什器備品 (ノートパソコン)	138,018		
エアコン及び取付工事 (三菱SZ)	443,801		
	581,819		
有形固定資産合計	13,193,533		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産合計	-		
固定資産合計		13,193,533	
資産合計			19,188,942
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金			
源泉税預り金	451		
未払金			
携帯電話未払金	22,856		
役員借入金	-		
流動負債合計		23,307	
2 固定負債			
固定負債合計		-	
負債合計			23,307
正味財産			19,165,635

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、定額法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物	1,672,000			1,672,000	167,200	1,504,800
建物付属設備	909,866	4,809,658		5,719,524	313,638	5,405,886
什器備品	175,118	236,600		411,718	214,550	197,168
合計	2,756,984	5,046,258	-	7,803,242	695,388	7,107,854

3. 借入金の増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期首残高
役員借入金	-	0	-	0
合計				0